



国際ロータリー第 2530 地区 2016-17 年度

福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

Rotary



vol. 31
WEEKLY REPORT
2017.5.11
thu

http://www.f-rotary.com/

本日のプログラム

青少年奉仕月間にちなんで

社会奉仕委員会 菅野 晴隆 委員長

会長あいさつ

第 31 回会長挨拶

古保 猛 会長



皆さんこんにちは！まずもって4月の日台友好親善コンサート大成功裏に終わることが出来ましたこと、改めて御礼を申し上げます。会員の皆様の個人個人のご尽力と各企業の協力と協賛によりまして、予想していた規模よりかなり大きなものになりましたが、大きなトラブルもなく終了することが出来ました。まさに感謝の一言でございます。被災者の方々、そして福島の子どもたちに大変素晴らしい安らぎのひと時と国を越えての国際奉仕の素晴らしさを感じていただけたと思います。御協力ありがとうございました。

さて5月は青少年月間であります。後程菅野青少年奉仕委員会委員長よりスピーチをいただきますが、月間にちなんで5月20日(土)には当クラブが主幹となり県北第一分区の新世代会議が開催となります。当クラブが対外的な行事で主幹となるものは、今年度これが最後となりますので、大勢の皆様の参加を宜しくお願いいたします。また福大の連携講座については引き続き毎週木曜日7月まで開催されますので、担当講師の皆さんは宜しくお願いします。

私の第1回目の講座の感想文等について、読ませていただき採点をいたしました。私の感想としては予想以上に学生の皆さん、よく話を聴いてくれたなあ、と感じました。特に多かったのが四つのテストについて、多くの称賛の意見をいただきました。どんな場面においても、これは当てはまるので今後の人生の参考にしたいという多くの感想がありました。

さらには最もよく奉仕する者、最も多く報いられるというロータリーの標語についても、多くの賛同がありました。また、学生という立場から純粋な意見として、何故女性全員が、これほど少ないのかという意見が数多くありました。その他にも色々な感想や意見もあり、私自身にとっても大変勉強になる講座でありました。今後の講座は益々充実した内容となることを確

例会次第

開会点鐘 古保 猛 会長

ロータリーソング

「奉仕の理想」

ソングリーダー

安藤健次郎 会員

「四つのテスト」唱和

勝見浩二 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

5月誕生祝

新会員入会式

会長あいさつ

古保 猛 会長

食事

幹事報告

菅野裕一 幹事

各委員会報告

●広報マルチメディア雑誌小委員会より

*「友」5月号紹介 今井理基夫 小委員長

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

菅沼 裕 委員

●社会奉仕委員会より

*茂庭桜案内プレート設置報告

坪井大雄 委員長

◎本日のプログラム

開会点鐘

古保 猛 会長

幹事報告

例会変更のお知らせ

- 福島北RC、23日(日)の例会は職場訪問例会にて、フォーズマーケット(いちい)へ変更しております。
- 当クラブ次週18日の例会は、福島北RCとの合同夜間例会で、午後6時30分辰巳屋となります。
- その他のお知らせ
ロータリーレートは5月より1ドル110円に変更となります。

信しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、来週は北クラブとの合同例会となります。日中は親睦ゴルフも予定されておりますし、大いに親交を深めたいと思いますので宜しくお願いします。

最後になりますが、東京交歓会についてお願いであります。各転勤族の皆様、どうぞ前任の方、さらには前前任の方にも是非、お声がけいただきますようお願いをいたします。

青少年奉仕月間にちなんで



青少年奉仕委員会

菅野 晴隆 委員長

今月5月は、青少年奉仕月間（Youth Services Month）となっており、青少年奉仕委員会から皆様へお話しをする機会を与えていただきましたので、本日は、青少年奉仕について、お話しをさせていただきます。

1 青少年奉仕の歴史について

ロータリー章典によれば、「5月は、若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる『青少年奉仕月間』である。ロータリークラブは、この月間中、クラブのニューズレターやその他の広報資料に『各ロータリアンは青少年の模範』のスローガンを利用するよう奨励されている（ロータリー章典8.060.3.）。」とされています。

ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨーク・ロータリー・クラブが地元団体と協力して行った「Boys' Week（少年週間）」が始まりとされているようです。この「Boys' Week」は、よき市民、衛生、職業の分野で青少年の育成を促すため行われたものであり、その成功が1920年のロータリー国際大会で報告されると、数年前に結成された活動委員会のもとで「Boys' Week」はロータリークラブのプログラムとなりました。ロータリークラブは、このプログラムで地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行、不登校、不健康を防ぐ活動に取り組むようになりました。

「Boys' Week」の行事は、たちまち世界へ広がり、1920年代中頃までには、25か国、約600か所で実施されるようになり、1928年には3,000地域で開催されています。また、1924年にミシシッピ州で「Boys' Week」とともに開かれたLoyalty Dayに、少年に加えて少女も参加してプログラムの対象が広がり、1934年には「Boys' Week」が「Youth Week（青少年週間）」となり、1936年には「Boys and Girls' Week（少年・少女週間）」と名称変更されましたが、1956年、RI理事会は「Boys and Girls' Week」への公式参加を中止すると決定したうえで、地元青少年のための奉仕をその後も続けるよう各クラブに奨励しました。

その後、ロータリーは、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換といった青少年のためのプログラムを創設し、2010年には、青少年奉仕がロータリーの5つめの奉仕部門と定められました。現在も、ロータリーは、インターアクトやローターアクト

の活動を支援しつつ、ロータリーのプログラムであるロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換、新世代交換、地元や海外での奉仕プロジェクトなどの活動を通じて若者に素晴らしい経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう、活動を続けています。

2 青少年奉仕の活動について

（1）支援と指導

① インターアクト

インターアクトクラブは、12～18歳の中学・高校生が会員となり、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養う活動を行います。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

福島ロータリークラブは、福島東稜高等学校の提唱ロータリークラブ（支援と指導を行う地元のロータリークラブ）となっています。

② ローターアクト

ローターアクトクラブは、やる気のある18～30歳の人たちが会員（通称「ローターアクター」）となり、リーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリー会員など地元のリーダーと交わり、楽しみながらボランティア活動をします。地元や世界の問題について考え、画期的な解決策を見出すなど、ローターアクターはグローバルに活躍しています。

福島ロータリークラブは、福島学院大学の提唱ロータリークラブとなっています。

（2）プログラム

新世代のためのロータリーのプログラムは、以下のとおりです（なお、以下では触れませんが、「奨学金」も、新世代のためのプログラムと位置付けることが可能であると考えます。）。

① ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）

地域社会の次世代のリーダーがつながり、アイデアを広げ、行動を起こすきっかけを生み出すのが、ロータリー青少年指導者養成プログラム（Rotary Youth Leadership Awards、通称「RYLA」）のイベントです。

RYLAは、クラブや地区（または複数地区合同）によって実施される、若者のためのリーダーシップ養成プログラムであり、このイベントは、1日のセミナーや3日間～1週間の合宿など、目的、リソース、参加者の種類によってさまざまな形で実施されます。年齢に決まりはありませんが、多く

のイベントは高校生、大学生、若い社会人を対象としています。イベントの目的も、家庭に問題を抱えた青少年を支援する、インターアクトやローターアクトのリーダーシップ能力を高める、ロータリー学友と再びつながる、職業人のリーダーとなる人材を育てるなど、多岐にわたります。

国際ロータリー第2530地区(福島県)では、今年度は、2017年5月27日～28日にかけて、福島県岩瀬郡天栄村にあるプリティッシュヒルズにおいて、ライラ研修が開催されます。福島ロータリークラブの会員の所属企業からも、若手社員の参加が予定されています。

②ロータリー青少年交換

ロータリー青少年交換は、交換留学を通じて、未来を担う若者たちの国際交流と異文化理解を促すプログラムです。交換留学生は、海外で外国語を学び、異文化に触れ、世界市民としての自覚を養います。世界100か国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

交換の期間は、長期交換は1年間、短期交換は数日間から数か月間とされています。

③新世代交換

新世代交換は、30歳までの大学生と若い職業人を対象とした短期の交換プログラムです。人道的な奉仕活動を通じて参加者のキャリア目標を応援できるよう、カスタマイズされた内容の交換(ネットワークを広げるための交流、職場体験、人道的奉仕活動、職業スキル開発、リーダーシップ研修など)が行われます。

交換の期間は、2～3週間から6か月までとされています。

3 青少年奉仕委員会の活動

福島ロータリークラブの今年度の青少年奉仕委員会は、「インターアクト、ローターアクトのプログラム等を通して、主に30歳までの青少年の方々を対象に、責任ある職業人・国際人として社会に貢献・奉仕できる人材を育成すべく支援する。」との活動方針の下で活動しております。主な活動は以下のとおりです。

- (1) 福島東稜高等学校インターアクトクラブ及び福島学院大学ローターアクトクラブとの三者合同新世代会議の主催(2017年2月18日、福島学院大学駅前キャンパスにて開催済み)
- (2) 国際ロータリー第2530地区県北第一分区新世代会議の主担当(2017年5月20日、ホテル辰巳屋にて開催予定)
- (3) 国際ロータリー第2530地区ライラ研修への対応(2017年5月27日～28日、プリティッシュヒルズにて開催予定)
- (4) 福島東稜高等学校インターアクトクラブ及び福島学院大学ローターアクトクラブに対する支援と指導(IAC、RACの地区大会への対応を含む。)

4 結びに

青少年奉仕がロータリーの五大奉仕の一つとして位置付けられている今日、青少年奉仕活動は、益々その重要性が増していると考えられます。

今月は、青少年奉仕月間となっております。福島ロータリークラブの会員の皆さんには、インターアクトやローターアクトとの交流その他を通じて、青少年奉仕活動について、更なるご理解とご協力をいただければ幸いです。

社会奉仕委員会 報告 「茂庭桜」見本木植樹と新プレート設置



4月27日(木)、会長・幹事及び委員会メンバーをもって上記事業を実施しました。

この事業は、2004-5年度から3ヶ年度にわたり、ロータリークラブ創立100周年を記念し、摺上川ダム周辺における豊かな自然環境を創出し、市民の憩いの場となるよう願いを込めて、茂庭桜並木100本を記念植樹した事業を今回ブラッシュアップさせていただいたものです。

新たに見本木を植樹して、新しい記念プレートを設置いたしました。

当日は、当時の会長(渡邊又夫会員)担当委員長(白岩康夫会員)のお話を聞きながら、改めて福島ロータリークラブの伝統と事業にかけける思いを再認識させていただくことができた貴重な一日となりました。



新入会会員



●あいおいニッセイ同和損害保険㈱
福島自動車営業部 部長

さとう ゆたか
佐藤 裕 様

紹介 大沼健次 会員

私のひとこと

菅野 晋 会員



世の中には、日本3大なんとかと言われているものが多数ある。日本三景や日本三名園はその中で最も有名な部類であろう。福島県にもそんなものがある。いくつかある。例えば、日本3大ラーメンの喜多方ラーメン、日本3大喧嘩祭りの飯坂けんか祭り、日本3大提灯祭りの二本松提灯祭り、日本3大不動尊の飯坂町中野不動尊などである。ただこれらのものは、一概に全国で3つだけと言うわけでもなく、4つ以上存在する事も多々ある。3大喧嘩祭り・3大提灯祭り・3大不動尊は、全国に4か所以上ある。

最近テレビCMで、郡山に本店がある老舗の饅頭屋が、日本3大饅頭と突然名乗り出した。この会社は150年以上の歴史があり、饅頭をずっと造り続けているが、はたしてこの事が日本3大饅頭にどのように起因してくるかは解らない。結局、日本3大なんとかと言うのは、早い者勝ちで名乗ったところにその権利が与えられると言う事なのだろうか。

世界3大珍味と言えばフォアグラ・キャビア・トリュフであるが、これは間違いなくフランス人が名付けたであろう。また世界3大料理と言うのもある、フランス料理・中国料理・トルコ料理である。これは20世紀前半に定義され、今の時代に合わなくなってきた。現代ならばさしずめ、フランス料理・メキシコ料理・日本料理となるであろう。これらの料理は、いずれも世界無形文化遺産に登録されているからである。

例会プログラムのご案内

5月18日(木) 18:30～ 辰巳屋

福島北RCと合同夜間例会
合同ゴルフコンペ開催
場所：パーシモンCC

5月20日(土) 13:30～ 辰巳屋

県北第一分区新世代会議
テーマ ふくしまの未来をつくる
ふくしまの5年後を考える

5月25日(木) 12:30～ 辰巳屋

新会員スピーチ
(例)アプト代表取締役 佐藤 良智 会員

5月28日(日)

県北第一分区親善ゴルフ大会
場所 パーシモンCC

5月誕生祝い ～おめでとうございます～



佐藤 朋幸 会員

昭和42年5月2日

長谷部一雄 会員

昭和19年5月7日

山内 功 会員

昭和38年5月9日

増子 勉 会員

昭和24年5月13日

小原 敏 会員

昭和28年5月14日

稲葉 鐘吾 会員

昭和6年5月16日

鈴木 勇人 会員

昭和47年5月18日

草野 武夫 会員

昭和15年5月19日

林 隆壽 会員

昭和30年5月22日

三浦 康伸 会員

昭和43年5月26日

江刺家宏樹 会員

昭和47年5月29日

ニコニコBOX報告 (報告)菅沼 裕 委員

本日のニコニコBOX投入額 28件 ¥73,000 累計 ¥1,895,200

古俣 猛 会長

先日、川で流された少年が救助されたニュースを観ました。川に飛び込んで助けたのが75才の医師の方。凄い！心から尊敬しました。本当に敬服した出来事でした。

本日も宜しくお願いします。

幡 研一 会員

日台友好親善コンサートお疲れ様でした。台湾の方々も喜んでいました。

青少年奉仕委員会スピーチ、菅野晴隆会員に期待して。

渡邊又夫 会員

27日、社会奉仕委員会は茂庭桜のメンテナンスを行い、夜は万松さんで花見会を開催しました。

翌日林谷元会員の訃報に接し、葬儀では友人を代表して弔辞を述べて参りました。

佐藤 徹 会員

4月27日福島大学連携講座(第3回)を実施してきました。

111名の学生の皆様に「これからの自動車保険」についてお話をしました。

学生時代に戻りたくまりました!!

佐藤 裕 新会員

4月より福島に転勤して参りました。

本日より入会させていただきます。宜しくお願い申し上げます。

加藤義朋 会員

右大腿骨骨頭軟骨骨折症です。

他クラブ会員より／菅野晴隆／井上賢司／江本和彦／茂田士郎／林 隆壽／草野武夫／佐藤康太郎／靄丸直久／白岩康夫／吉田大樹／今井理基夫／信国一朗／船本 勝／土屋敦雄／児玉健夫／辺見哲郎／安藤健次郎／坪井大雄／田沼紀美子／佐藤良智／佐藤英典／勝見浩二／氏川守義／安藤鍊雄／後藤洋伸／本保 晃／岡田新也／長谷部一雄／菅沼 裕